

私の夢、それは、ユーマを取り入れて病院を明るく喜ばせ得られる場所に変わっていきたいということなのです。

私は看護師をしております。今まで多くの患者さんとの出会いがあり、その経験を通し気がいたことが、薬だけが治療ではないということなのです。患者さんが家族や友人病院スタッフの輪の中で喜ばせられたり、あるいはユーマを感じて幸せになることも治療だと考えています。

医学の長い歴史のなかでは、ユーマが健康の回復・増進に知き目があると言われってきました。しかし、医学の分野に科学が幅をきかせるようになるとなると、ユーマによる治療法は、その効果・保証を客観的に測ることの難しさから日影に追いやられてしまつたのです。ですが、現在テレビ放映にも使われたクリニクラウンが話題となつています。クリニクラウンとは臨床道化師とモイイ、小児病棟に派遣し入院している子どもたちが、子ども

本来のチカラを取り戻し笑顔になろう環境を創
るために活動しています。けれどもクリニ
クラウンになるには想像以上に難しく、才一
ディメンションを受け合格するのは、白人のう
ちに一人か二人と聞いています。そこで、だ
れでもどこでも簡単に夢の世界をつくれるハ
ネルニアタープであつたら私にもできるのでは
ないかと考えました。ハネルニアタープとは、
毛布たちのさいねル地にP401P1という布
職布を貼つたりはずしたりして展開するお話
や歌あそびのことも聞いています。このためにで
もできる、というところが一鍵なのですよ。
私は「ハピネス☆スマイル」というボラン
ティアガループを立ち上げ、病院や児童養護
施設、保育園や学校へ訪問し、ハネルニアター
プによる公演活動を行っています。そのボラン
ティアスタッフに、クローン病を患っている
方がいます。彼女は、食事制限があるため24
時間の点滴療法を自宅で受け、さらに、腎不
全も併発しているため、毎週3回の人工透析

も受けています。彼氏の担当は、P101101
の絵人形に絵の具で色を塗る作業。現在、50
作品におよぼす。そのうちの、
そのほとんどが彼氏が制作してくれたもので
す。公衆に参加する事は難しいけれど、自分で
も何かの役に立ちたい。病氣と闘っている方
を喜ばせる活動がしたいと、強い思いを抱
いています。

今、病氣を患っていても、この世に生き受
けたことはそれだけで奇跡のようによら

い。事柄のだから、その大切な時間を奪われ
顔で生きて欲しいと思います。病氣であつて
も、何かに関心を持つことが自分を癒してく
れる大切なチカラにほめることを知って欲しい
と思います。そして、病院全体が穏やかであ

れば、患者さんにも驚くほどの治療結果を
たらすはずですよ。病院に活気があれば、その
空気はきっと見舞客にも伝わります。たい

い病人に会うときは、不安や緊張で気が重く
なるものですが、その見舞客にさえ元気が出

